

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 明日の宮津を創る子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
■ 教育委員会全般			
1 教育委員会活動費／教育委員会事務局経費	<ul style="list-style-type: none"> ■教育委員会：15回／年 ■総合教育会議：1回／年 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議における教育振興計画の進捗状況等の確認 ■教育委員会事務事業点検評価の実施 	
■ 学びの基礎を育てる教育・保育の充実			
2 私立幼稚園振興助成事業／幼稚園教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園振興費補助金：6人 ■私立幼稚園就園奨励費補助金：23人 ■第3子以降保育料無償化補助金：1人 	【H32目標】公立幼稚園入園児数：90名 <ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児数：50名(H30：59名) ■私立幼稚園教育の振興と保護者の経済的負担の軽減 ■保育・教育無償化（10.1～）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児童数の増加に向けた取組が必要
■ 質の高い学力の充実・向上			
3 小中一貫教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催（1回） ■小中一貫教育専任職員の配置（1名） 	<ul style="list-style-type: none"> ■小中一貫教育導入と併せて取り組む学力向上プランの実施 ■宮津市版教科・領域等カリキュラムに基づいた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ■推進基本計画及び学力向上プラン、教科・領域等カリキュラムに基づく教科指導等を充実していく必要がある
4 小学校・中学校教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ■特別支援教育支援員配置（小10人・中3人） ■漢字検定料（小247人・中98人）・英語検定料補助（中190人） 	【H32目標】質の高い学力を育む：小6・中3全国平均以上 <ul style="list-style-type: none"> ■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実 ■全国学力・学習状況調査の正答率：中3 全国平均以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の学力向上に向けて、引き続き、対策の強化を図る必要がある
5 英語指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ■英語指導助手配置（小学校）：1名 ■英語指導助手配置（中学校）：1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■全幼稚園・保育所等への共通した国際理解教育の提供 ■英語指導助手の生の英語授業による児童生徒のリスニング能力の向上、外国人とのコミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人観光客対応も含め、市民全体の国際理解強化を図る必要がある ■英語活動、英語科の指導の充実に向けて、教員の英語力向上を図る必要がある
■ 心身ともに健やかな子どもの育成			
6 いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 	【H32目標】いじめの認知件数／発生率：減少させる 認知いじめの年度内解消：100% <ul style="list-style-type: none"> ■いじめの認知件数（小235件・中86件） 解消：小224件・中28件／解消に向け取組中：小11件・中58件 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための継続的な取組が必要
7 学校給食運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■民間委託によるセンター方式給食の実施 ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達登録制度の運用と食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校給食及び民間委託によるセンター方式給食の継続実施（小学校4校、中学校2校） 	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食導入に向けた準備
8 教育支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ■教育相談室「こころのまど」 ■適応指導教室「こころのひろば」 	【H32目標】不登校児童生徒の出現率：0% <ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の居場所づくり、登校支援実施 ・R元不登校児童生徒の出現率：小0.14% 中3.65% 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰及び社会的自立に向けた継続的な取組が必要
■ 特別支援教育の充実			
9 教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育支援委員会 ■特別支援教育支援員配置（小10人・中3人）（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ■幼児・児童生徒の就学等に向け、適正な教育支援 ■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実 ■障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ■通常学級に在籍する要配慮児童等へ引き続き丁寧な教育支援が必要

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 明日の宮津を創る子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
■ 教育環境の整備・充実			
10 幼稚園・小中学校管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園2園、小学校6校、中学校2校 ■小規模校における児童のより良い教育環境の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園・小中学校施設の維持管理の向上 ■小規模校(3小)合同学習の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■日置小学校・養老小学校のより良い教育環境を確保するため、学校再編を引き続き協議していく必要がある
11 スクールバス運行・購入事業／遠距離通学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の安全確保のためスクールバス(9路線)の運行 ■公共交通機関利用児童生徒への遠距離通学費補助金支給 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の通学時の安全確保が図られた ■再編後の橋立中に通う生徒の通学のため専用スクールバス(2台)を運行 ■生活交通の確保が図られた 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の安全な通学手段の確保等を図るため、引き続きスクールバス運行に努める必要がある
12 就学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■新入学学用品費の入学前支給の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■就学援助により経済的理由による非就学児童生徒は発生していない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの貧困対策の一環として、事業の継続的な実施が必要である
13 小学校・中学校・幼稚園施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ■[繰越分]宮津小学校北校舎の解体及び外構整備(給食棟解体、駐車場整備ほか) ■トイレの洋式化(宮津幼、栗田幼) ■空調機器整備(栗田小、吉津小、府中小、日置小、養老小、宮津幼、栗田幼) ■吉津小理科室移転整備、栗田小外構整備 ■[繰越分]宮津小受水槽・高圧受電設備改修 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校施設整備年次計画に基づく整備の実施 ・宮津小学校を除く5小学校の空調機器整備 ・[繰越分]宮津小学校北校舎の解体及び外構整備(給食棟解体、駐車場整備ほか) ・宮津幼稚園及び栗田幼稚園空調機器整備、トイレの洋式化 ・その他、宮津小、栗田小、吉津小において、学校施設の機能向上に係る整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■長寿命化計画を策定し、予算の平準化、維持管理コストの削減を図りながら、効率的・効果的な施設整備が必要 ■非構造部材の耐震化(特に屋内運動場の吊り天井)
■ 放課後児童クラブ事業			
14 のびのび放課後クラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> ■直営クラブ4箇所 ■民営クラブ1箇所 ■吉津小学校校舎内での開設、法人委託化に向けた整備、調整 	<p>[H32目標]学校空き教室・学校敷地内での運営施設数:3箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校敷地内運営施設数:3箇所 ■直営クラブ:定員202名→実利用児童数180名 ■民営クラブ:定員20名→実利用児童数20名 ■栗田のびのび放課後児童クラブ、府中のびのび放課後児童クラブの学校敷地内等での開設、法人委託での運営開始 ■吉津のびのび放課後児童クラブの令和2年度からの学校校舎内での開設、法人委託での運営開始に向けた整備等 ■吉津小学校校舎内に、放課後児童クラブを整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■全小学校区・学校敷地内において開設していく必要がある

【総括】

○質の高い学力の充実・向上
 ・小中一貫教育では、「小中一貫教育推進基本計画」、「学力向上プラン」、「宮津市版教科・領域等カリキュラム」に基づいて、基本方針の具体化と教育施策の明確化、各教科の指導内容の共有化を図るなど、小中一貫教育の令和2年度全面実施に向けた取組を進めることができた。

○心身ともに健やかな子どもの育成
 ・学校給食運営事業では、食育の推進及び平成30年度2学期からの中学校給食とセンター方式給食等の継続的な運用を行った。

○教育環境の整備・充実
 ・普通教室のエアコン整備100%を達成するなど、良好な教育環境の整備を推進することができた。
 ・就学児童生徒援助事業では、新入学児童生徒学用品費の入学前支給の継続、卒業アルバム代の品目追加を実施し、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減をさらに拡充することができた。

○放課後児童クラブ事業
 ・令和元年度から栗田小学校、府中小学校敷地内等に新設し、社会福祉法人に委託し運営を開始した。また、市設置の吉津のびのび放課後児童クラブについて、令和2年度からの吉津小学校校舎内での開設準備ができた。さらに、開設時間を午後7時まで延ばし、受け入れ環境の充実を図ることにより更なる保護者の支援につながった。

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 生涯にわたる充実した豊かな学び

主要事業		事業実績	成果	課題・検証
■ 生涯学習の充実				
1	生涯学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育委員会の開催 3回/年 ■青少年健全育成事業 ■宮津市すこやか大学の開設 受講者350名 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育施策全般にわたる助言、評価等を実施することができた。 ■小学生から高齢者にいたる全世代に対する学習機会を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会人（青年層から熟年層）を対象とした生涯学習機会の充実及び学習の成果を地域社会に還元する取組検討
2	公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■中央公民館・地区公民館を中心とした公民館事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■公民館長を中心とした公民館事業の実施（中央公民館・9地区公民館＋宮津地区（5地区））による生涯学習機会を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各地域で抱える課題をテーマにした住民参加型の学習講座の充実
3	国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ■小学生夏休み英語合宿の開催 参加者12名 	<ul style="list-style-type: none"> ■小学生に1泊2日の英語体験合宿を行い、英語に触れる機会を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今後の学校教育での英語の取組みとの協調 ■生涯学習としての英語学習の実践検討
■ 生涯スポーツ社会の実現				
4	スポーツ活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ推進委員の設置 11名 ■巡回ニュースポーツ教室の実施 9地区17回 参加者128名 ■子どもスポーツ教室・大会の実施 ヨット教室 ■宮津市スポーツ協会運営補助 ■全国大会等スポーツ大会出場選手激励金の交付 28件 ■四都市体育大会等スポーツ大会への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■巡回ニュースポーツ教室の実施により、生涯スポーツの普及を図ることができた。 ■各種団体の育成、競技スポーツへの関心の気運醸成を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上 ■全国的・広域的な大会への出場件数の更なる増加 ■四都市体育大会での成績向上 ■広域スポーツイベントの年間開催回数・参加延人数の増加
■ 社会教育施設の整備・充実				
5	社会教育活用施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育活用施設の管理運営 4地区7施設 ■体育館利用者件数 984件 ■グラウンド利用者件数 538件 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域住民が、気軽に利用できる生涯スポーツ施設として利用件数が増加した。 ■地域住民の身近な生涯スポーツ施設として定着が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の老朽化
6	図書館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市立図書館協議会の開催 3回/年 ■令和元年度事業計画、福知山市立図書館視察ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館のサービス、蔵書の充実が図れた。 ■図書館利用者の拡大を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館ボランティアの拡大 ■おはなし会の回数・参加者の増加 ■図書館入館者数・貸出者数・市民一人当たりの図書貸出冊数の更なる増加 ■リファレンス件数の増加
7	公民館施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ■日置地区公民館移転に係る実施設計業務 ■地元建設委員会との協議により、施設整備内容を設計に反映 	<ul style="list-style-type: none"> ■老朽化した日置地区公民館を整備するにあたり、遊休施設の旧日置中学校校舎に移転整備することを決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度中に移転整備を行う。 ■他の老朽化した地区公民館の整備計画の策定

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 生涯にわたる充実した豊かな学び

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
■ 家庭や地域の教育力の向上			
8 青少年教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年問題協議会の開催 1回/年 ■ 青少年健全育成事業（再掲） 子どものびのび体験活動事業（陶芸、工芸、料理教室等） わくわく星座教室、夏休みおもしろ体験教室の開催 ■ 家庭教育講演会の開催 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児期からの家庭教育講演会の開催等により、青少年の健全育成を図った。 ■ 家庭教育啓発リーフレット（乳幼児期）を作成し、乳幼児健診時に配付することにより、子育て時における家庭教育の啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭教育研修への参加者の増加
■ 人権教育・啓発の推進			
9 障害者教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 視覚・聴覚障害者成人講座の開催 2回/年 参加者24名 ■ 障害者青年学級の開催 41回/年 参加者延べ人数224名 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害者の交流、学習の場の提供が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指導者の後継者育成 ■ 各種事業への参加者の増加（固定化・高齢化）
10 人権教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宮津市企業人権教育推進協議会への支援 ■ 人権問題研修会の開催 2回/年 参加者175名 ■ 人権講座の開設、支援・4講座 ■ 研修会、人権カレンダーの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各地区公民館を中心に研修会、講座などを行うとともに、市の広報誌に人権コーナーを設け、毎月人権に関わる記事掲載することにより市民への人権啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様化する人権問題への対応

【総括】	<p>○生涯学習の充実 公民館活動を中心に、各種生涯学習事業を実施したほか、青少年教育・障害者教育・人権教育・高齢者教育について、様々な取組みを実施することにより、各ライフステージ、各課題ごとの学習機会の提供が図れた。</p> <p>○生涯スポーツ社会の実現 子ども達のスポーツから競技スポーツまで、生涯を通じたスポーツ活動を推進するため、巡回ニュースポーツ教室、少年少女スポーツ教室、宮津市スポーツ協会への支援を行うのほか、各種全国レベルの大会等の後援を行うことにより、生涯スポーツの振興を図ることができた。</p> <p>○社会教育施設の整備・充実 各社会教育施設が老朽化する中、改修などを行い利用者の利便性の向上に努めた。</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針3 誇りと愛着のある地域文化の保存・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
■ 文化財の保護と活用			
1 文化財保護・活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財保護審議会の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財候補物件の選定・審議等 ・由良地区方面の文化財の視察 ■市内新指定等文化財（29年度） <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市指定文化財 新規指定なし ②京都府指定文化財 新規指定なし ③京都府暫定登録文化財 5件 <ul style="list-style-type: none"> ・美術工芸品 5件 ※うち市指定重複2件 ■両丹文化財保護連絡協議会（10/30） <ul style="list-style-type: none"> ・府北部市町の審議会委員、担当者（約50名） ・テーマ「文化財の防火・防災について」 ■文化財説明板の設置・更新（2件） <ul style="list-style-type: none"> ・更新 「八幡山城」（宇宮町） ■市内文化財保全事業（所有者実施） 12件 <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市社寺等文化資料保全費補助金 0件 ②国宝重要文化財等保存整備費補助金 1件 ③京都府指定・登録等文化財等補助金 2件 ④京都府社寺等文化資料保全補助金 6件 ⑤国・府指定登録文化財等維持管理費補助金 2件 ⑥その他補助金 1件 ■「みやづ歴史紀行」の連載 <ul style="list-style-type: none"> 広報みやづ（月1回発行）に継続して連載 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内新指定文化財 <p>府の29年度からの新制度である「暫定登録文化財」について、市も積極的に調査協力を行い、5件の文化財（美術工芸品）を新規登録することができた。た。うち2件については、従前の市指定文化財と重複であり、これまでの市の指定調査作業が再評価されたものといえる。</p> <p>しかしながら市指定文化財の新規指定は近年停滞ぎみである。市指定には、都市部の研究者の目に触れにくい地域に密着した文化財、または地域独自の価値がある文化財という意味もあり、どのような文化財を市指定として拾うかといった議論が必要と考える。</p> <p>また、今後、過疎化により、今まで地域で守ってきた社寺等の建造物の保全が課題になり、調査を通じ指定登録を推し進めていく必要がある</p> ■市内文化財の保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・所有者が行う文化財の修理事業のコーディネートを実施。 ・府と連携し、多くの市内の貴重な文化資料の保全を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の未指定文化財の調査と価値付け <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の指定の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財あり方検討と新規指定 ・府暫定登録文化財制度の活用 ■指定文化財等のランクアップ <ul style="list-style-type: none"> ・府・市指定文化財を国・府指定文化財へ ■文化財保護に係る普及啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ※教育普及や市民ニーズの答えるよう実施 ・歴史講座等の実施 ・文化財図録等の刊行 ・ICTを活用した情報発信 ■文化財の活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化財を生かしたまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ※ひとづくり（教育）まちづくり（観光等）の視点 ■市内文化財の保全事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・府等の補助制度を活用した市内の文化財修理事業の推進 ・市独自の文化財保全事業補助制度の構築 <ul style="list-style-type: none"> ※市指定文化財修理に対する補助制度など ■人づくり・まちづくりに資する文化財の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護活用に係るマスタープラン作成 <ul style="list-style-type: none"> ※R2～R4 文化財保存活用地域計画の作成 ・学校教育、社会教育、その他との連携協力体制構築
2 市内遺跡発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査の実施（28年度からの継続事業） <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査未実施、過去調査の遺物整理を実施。 ・出土古銭の保存処理委託 ■開発行為に伴う緊急調査（試掘） <ul style="list-style-type: none"> ・宮津城跡（宇鶴賀） ・倉梯山古墳群（宇須津） ■遺跡保護のための開発行為との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <p>開発行為2件の調査が発生したこともあり、現地調査は未実施とした。また、H30年度調査で出土した、古銭3種（和銅開弥・萬年通宝・神功開宝）の保存処理を実施。R元年度の府暫定登録文化財に新規登録をされ、今後、展示資料としての活用も可能となった。</p> ■開発行為に伴う緊急調査（試掘） <p>工事計画に伴い、事前に地下の遺跡の状況を探るための試掘調査を実施。開発行為と遺跡保存の調整を図ることができた。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の価値の証明と保全に関する措置の検討 ・調査成果の普及啓発と活用 ■増大する民間開発（主に宅地造成）に対する対応 ■国史跡「成相寺旧境内」の保全活用
3 重要文化的景観保護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■文化的景観検討委員会の開催（1回） <ul style="list-style-type: none"> ・宮津地区調査報告書の内容検討 ほか ■文化的景観整備事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・未実施（1件予定であったが所有者意向で取下げ） ■宮津地区追加選定に向けた調査報告書作成 <ul style="list-style-type: none"> ・調査及び原稿執筆 ・図面作成委託 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津地区追加選定に向けた調査報告書作成 <p>追加選定に向け、宮津地区の文化的景観の特質を明らかにするための調査報告書の作成作業を実施、当該年度刊行の予定であったが、執筆量が当初想定を超え、翌年度刊行（事業繰越）となった。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市街地地区の追加選定 <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告書の刊行 ・保存管理計画の策定 ・地域同意を得るための普及啓発活動、説明会等の開催 ・文化庁への選定申出、景観計画変更等 ■計画的な整備事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・景観まちづくりの視点を持ち対象を誘導

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針3 誇りと愛着のある地域文化の保存・活用

主要事業		事業実績	成果	課題・検証
4	旧三上家住宅管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者による管理運営の実施（建物公開） <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 元結屋27 ・自主事業 お茶会・展示等8種のイベント開催 ・観覧者数 3,963人（H30年度：4610人） 	<ul style="list-style-type: none"> ■重要文化財建造物の保全を図りつつ、建物の公開活動を通じ、市街地の歴史文化の普及啓発が図れた。 ■光秀・ガラシャをテーマにした展示スペースを設けるなど、大河ドラマ推進協議会との連携事業の実施のほか、旅行商品への参加など、市民団体や観光事業者との連携が進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者による運営・事業の今後の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・次期（R3～）指定管理者の選定 ほか ■文化施設、観光施設としての活用策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ・北前船関連事業との連携等 ・旅行商品の造成、インバウンド対策 ■建物の耐震診断、活用も踏まえた大規模修理の検討
5	歴史資料館管理運営事業	<p>○現在休館中のため、施設の維持管理と、常設展示室の随時公開の活用を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■常設展示室の活用（無料公開等） <ul style="list-style-type: none"> ・特別公開（イベント時等の公開） 計2回 計147人 ・特別利用（団体の見学希望） 計4件 計170人 	<ul style="list-style-type: none"> ■公共施設再編方針の議論の中、歴史資料館については、島崎地区のサウンディング調査の結果を踏まえ、今後の在り方を検討することとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■資料館・歴史ガイダンス施設の今後の在り方検討 <ul style="list-style-type: none"> ※R2以降「文化財保存活用地域計画」策定でも議論予定

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針3 誇りと愛着のある地域文化の保存・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証	
■ 文化・芸術活動の推進				
6	文化振興推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■丹後文化芸術祭に参加（丹後美術工芸展 ほか） ■市民文化祭の開催（文団協、実践センターと共催） <ul style="list-style-type: none"> ・美術展（11/2～4 出展者:135人 観覧者:829人） ・音楽祭（11/3 参加:10団体 観覧者:545人） ・芸能祭（11/4 参加:14団体 観覧者:615人） ・茶席（11/3） ・歴史資料館公開（11/3～4 観覧者:77人） ■市民地方講座の開催（29年6月～31年3月） <ul style="list-style-type: none"> ・地方講座（歴史の館）8回 受講者17人（延102人） ・出前講座（宮津小学校）14回 受講者11人（延68人） ■文化団体協議会（加入35団体）の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市民夏季文化活動 12の講座等の広報 ・秋・冬の文化行事 12の事業（発表会）等の広報 ・機関紙「文化の潮」59号の発行（各戸配布） ■浜町ギャラリー利用調整（4/1～3/31） <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数（日数）:34件（205日） ・写真・絵画の個展など丹後一円から利用 ・来場者数計:14,375人 	<ul style="list-style-type: none"> ■文化団体協議会の活性化に向けた支援策の検討（構成団体が減少傾向にある） ■文団協加盟団体以外の文化団体・個人の発掘と支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市内若手芸術家等への支援 など ■浜町ギャラリーの更なる有効活用策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体（丹後一円）の組織化・連携強化 ・新規性、集客性のある催し物の実施検討 ■文化を生かしたまちづくり施策（文化政策）の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化の保全とリノベーション、情報発信 ・学校や社会教育との連携 など 	
7	みやづ歴史の館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ■経年劣化、故障した設備の更新 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・空調用冷却塔自動制御器の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の適切利用に必要な設備の維持が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■経年劣化した設備関係の計画的更新 <ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数を迎える受電設備、冷却設備等の更新 ・エレベータ耐震化工事 ・文化ホール設備の更新（音響設備・吊物等）
8	みやづ歴史の館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■テレビ電波共聴システムの維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・システムの保守管理・電波送信アンプの修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ■機器の不良（電波送信アンプ）の不具合により、特定チャンネルでの受信不良が複数回発生したが、その都度、保守業者の協力を得て速やかに復旧することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■近年増加傾向のシステム不具合発生時の速やかな対応 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての電波送信アンプの更新（R2実施予定）

【総括】	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護・活用推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・29年度からの府の新制度「暫定登録文化財」として新たに市内の5件（30年度：15件）の文化財を登録することが出来た。今後も府と連携の上、より多くの文化財に光をあてていきたい。特に社寺等の建造物の登録数増加を図りたい。 ・一方、近年滞り気味の市指定文化財の指定について、その意義やあり方を、宮津市の独自性の視点をもち検討してゆきたい ○市内遺跡発掘調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ・安国寺遺跡発掘調査においては、引き続き調査事業を継続し、市内の重要遺跡としての価値内容を明らかにし、その保全策を検討する。 ・一方、4年の計画期間の見直しや遺跡の価値付け評価・今後の保全策についても検討を進めていく必要がある。 ・安国寺遺跡のほかの市内の重要遺跡についても今後発掘調査を計画的・継続的に実施、内容を明らかにし、これら遺跡の保全と活用に資する資料を蓄積していきたい。 ○重要文化的景観保護推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津地区の追加選定に向け、必要な景観規制や「重要な構成要素」の特定など保存管理計画を作成、同時に普及啓発を通じ地域住民の機運醸成、同意形成を図っていきたい。 ・民間所有の「重要な構成要素」（建造物等）の整備事業については、宮津地区の新規案件も視野に入れ計画的に実施し、良好な景観形成を通じた魅力的なまちづくりに寄与していきたい。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------